



平成 26 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 アピックヤマダ株式会社
代表者名 代表取締役社長 押森 広仁
(コード番号 6300 東証第二部)
問合せ先 取締役企画部長 小出 篤
(TEL. 026-275-2111)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社グループは、平成 24 年 5 月 11 日に中期経営計画（平成 25 年 3 月期～平成 27 年 3 月期）を公表し、推進してまいりました。本日「平成 26 年 3 月期決算短信」で公表したとおり、中期経営計画の最終年度にあたる平成 27 年 3 月期の業績数値目標を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 目標数値（連結ベース）

(修正後)

単位：百万円

	平成 26 年 3 月期（実績）	平成 27 年 3 月期（計画）
売上高	9,097	11,140
営業利益	▲584	120
売上高営業利益率	－%	1%

(修正前)

単位：百万円

	平成 26 年 3 月期（計画）	平成 27 年 3 月期（計画）
売上高	10,790	14,000
営業利益	130	700
売上高営業利益率	1%	5%

2. 修正理由

当社グループは、中期経営計画（Innovation 3）を①半導体市場において劇的な環境変化に対応できる企業体質を構築し、新たな価値の創造により海外市場を中心にシェアの拡大を図ること、②シリコンサイクルに影響される企業形態からの脱却を目指し、新技術の開発を推進し新たな市場への参入と早期収益化を図ることを目的として策定し、計画した施策を実施してまいりました。

しかしながら、半導体市場において後工程や開発を進めている新製品のマーケットの立ち上がりが遅れたこと等により、平成 26 年 3 月期の実績は上記のとおり中期経営計画値を下回る結果となりました。

中期経営計画最終年度である平成 27 年 3 月期は、半導体後工程への設備投資は継続するものの新製品のマーケットの本格的な立ち上がりが期の後半となる見込であること等から平成 27 年 3 月期の目標数値を修正することとしました。

(注) 本資料に記載されている将来に関する記述および数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上